

- 2面 介護に必要な住宅改修費や福祉用具購入費などの一部支給ほか
- 3面 学校施設更新計画への意見募集、キッズCon. チャレンジほか
- 4面 こどもの森児童館の開館、情報ボックスほか



めぐろ区報

人口と世帯

住民記録者数…… 283,132人
 (うち外国人数…… 9,508人)
 男…… 133,849人
 女…… 149,283人
 世帯数…… 159,812世帯
 2.7.1現在の住民記録による

Q どこで探せばいいの？

ビオトープと呼ばれる小さな池がおすすです。東山公園や中目黒公園、菅刈公園、めぐろ区民キャンパス公園、林試の森公園などにあります。ビオトープを設置している小学校(18カ所)もあるので、小学生は休み時間などにのぞいてみてください。

碑文谷公園や駒場野公園にある池、目黒川などでも、ぜひ探してください。

Q 水辺の調査で何が分かるの？

昔からいるいきものがいたら、水がきれいなことが分かります。昔はいなかったいきものがいたら、水が変わり、まちの環境が変わったことが分かります。

めぐろいきもの气象台調査

水辺でいまものを探してみよう

区は、毎年テーマを決めて、区内のいきもの調査をしています。生息するいきものは、今の環境を知る手掛かりになるからです。

今年のテーマは「水辺のいきもの」。水辺には魚や植物、虫、鳥など、さまざまないきものが暮らしています。水辺でいきものを探して、その情報を、ぜひ知らせてください。

寄せられた情報で、「目黒区いきもの住民台帳」という冊子(右写真)を作っています。これまで作成した目黒区いきもの住民台帳は、ホームページ(右コード)に掲載しています。ぜひご覧ください。

問みどり土木政策課みどりの係 (☎5722-9359、FAX3792-2112)

Q 見つけたらどうする？

1 記録をしよう

いつ(○月○日の昼ごろ)、どこで(○○公園)、何が(シオカラトンボ)、どうしていた(2匹で飛んでいた)、感想(久しぶりに見た)を書きましょう

2 できれば写真を撮ろう

種類を見分けるなどの貴重な資料になります

3 発見情報を送ろう

「水辺のいきもの情報」と明記のうえ、住所、氏名(ふりがな)、電話、発見情報を書いて、郵送・FAX・Eメールまたは電話で、みどり土木政策課みどりの係(〒153-8573目黒区役所<住所不要>、☎5722-9359、FAX3792-2112、✉sizen@city.meguro.tokyo.jp)へ

探すときの注意

- 1人で行かない(小学生以下は保護者と一緒に)
- 水の中に入らない
- できるだけ長袖・長ズボンで。帽子を忘れずに
- 水筒を持って、小まめな水分補給を

! こんないきものが見つかるかも



クロスジギンヤンマ
 体長は64~87mm。胸の側面に2本の黒い筋がある。ヤゴ(幼虫)の情報也大歓迎



アメンボ
 体長は11~16mm。集団で水面に浮いていて、比較的見つけやすい。体は黒色で触角が長い



メダカ
 体長は4cmくらい。絶滅危惧種に指定されるほど、野生のメダカは激減している



モツゴ
 体長は8cmくらい。小さい受け口が特徴。池の岸辺や川の流が緩やかな部分にいる



コサギ
 体長は60cmくらい。体は白く、足の指が黄色。川沿いに留まっていることが多い



オモダカ
 白い花をつける水生植物。名前は矢尻形の葉が人の顔に似ている「面高」が由来